

栃の木からの手紙

2025年 葉月 8月号



6日： 広島原爆の日
7日： 立秋
9日： 長崎原爆の日
満月 旧閏6月16日
12日： 御巢鷹山慰霊の日
(日航ジャンボ機墜落)
15日： 平和祈念の日
23日： 処暑
新月 旧7月1日

芋 ひまわり 赤ビーツ デントコーン (上写真の作物の並び7月8日)



参議院議員の橋本聖子氏が美幌町を訪れた日の朝、有機JAS畑のひまわりが黄色く見えている。いつの間に？暑さで開花が早まり一気に咲き始めたひまわり。種を採る為に暫く放置、26日に畑にすき込みました。

小麦の収穫作業も異常な速さ。下表に秋小麦と春小麦の収穫日の推移を表しましたが、早い年と遅い年を繰り返しながら年々早まっている事が分かります。今年は早魃も影響している為、小麦の粒も小さめになっています。

小麦の収穫時期の推移

	↔	★	7/15	7/20	7/25	7/30	8/4	8/9	8/14	8/19
	秋小麦	春小麦	...	...	...	...	...	...	...	...
2014年	7/29-8/4	8/9				↔		★		
2015年	7/30-8/5	8/9				↔		★		
2016年	8/3-8/8	8/13					↔		★	
2017年	7/29-8/6	8/9				↔		★		
2018年	8/2-8/8	8/20					↔			★
2019年	7/24-8/1	8/7			↔			★		
2020年	8/1-8/5	8/13				↔			★	
2021年	7/24-7/30	8/3			↔		★			
2022年	7/29-8/3	8/11				↔		★		
2023年	7/21-7/24	8/1		↔		★				
2024年	7/23-7/27	8/3		↔		★				
2025年	7/16-7/22	7/28	↔		★					

地球温暖化とか少子高齢化とか大分前から叫ばれていた訳ですが、此处に来て一気に急加速している感じがする。大きく慣れた経済の器を現状に即した大きさに戻す事は、大変な意識の問題。現在は80年前に対して、人口は1.7倍。GDPは、4.2倍(世界4位)。また終戦の日が来る。